

1	組織名称(略称)	HbbTV Association (HbbTV) https://www.hbbtv.org/			
2	分類	活動目的	実装仕様化・相互接続性検証	対象分野	サービス(マルチメディア関連)
	技術MAP	活動エリア(注1)	-1	活動技術(注2)	0
3	目的	TV、セットトップボックス、マルチスクリーン機器の接続により、消費者に調和のとれた放送とブロードバンド配信を提供することを目的としてグローバルイニシアチブ。			
4	組織構成	6つのワーキンググループが存在している。 ・Steering Group Chair: Klaus Illgner, IRT Vice Chair: Jon Piesing, TP Vision Treasurer: Xavier Redon, Cellnex Telecom ・Certification Group Chair: Simon Waller, Samsung, Vice-Chair: Keith Wilkinson, DTG ・Marketing & Education Group Co-Chair: Matthew Huntington (Freesat) Co-Chair: t.b.a. ・Specification Group Chair: Jon Piesing(TP Vision) ・Requirements Group Co-Chair: Simon Waller(Samsung) Co-chair: Peter MacAvock(EBU) ・Testing Group Chair: Ian Medland(DTG), Vice-Chair: Nguyen Thi Thanh Van (Samsung)			
5	参加資格費	年会費 €8,000			
6	主要メンバー (2017年4月現在)  (注3)	主要メンバー: Steering Group: 16団体 Cellnex Telecom, Sony Europe, Eurofins Digital Testing, Opera TV, RTL Group SA, TP Vision, IRT, Deutsche Telekom, EBU, TNO, LG Electronics Digital TV Group, Freesat, Reti Televisive Italiane, Samsung Electronics, Tivù うち日本企業1社: Sony Europe  会員数: 76 うち日系企業3社: Panasonic, Sony, Sharp			
7	他団体・組織との関係	リエゾンなど 以下の団体と関係 OIPF, CEA, DVB Application Signalling Specification (ETSI TS 102 809) and DASH, W3Cの規格を参照			
8	TTC活動との 関連性  (注4)	■TTCの専門委員会活動と関係あり 対象専門委員会: 一部マルチメディア応用専門委員会と検討領域が重なる <input type="checkbox"/> なし			
9	活動状況	(発行ドキュメント・ソフト、会合開催状況など) *2014.6にOpen IPTV Forum (OIPF)の活動を引き継ぐ ・5th Annual HbbTV Symposium Madrid October 18th & 19, 2016 ・25th HbbTV Interoperability Workshop July 20-21, 2016 ・Test Suite for HbbTV 2 Specification Dec, 2016			

10	設 立 時 期	2009年8月
11	本 部 所 在 地	c/o European Broadcasting Union L' Ancienne-Route 17A CH-1218 Le Grand-Saconnex Geneva, Switzerland Tel: +41 22 717 2735 Fax: +41 22 747 4735
12	関 連 標 準 化 技 術	最新の規格はHbbTV 2.0.1 (TS 102 796 V1.4.1) (2016-07-04) <a href="https://www.hbbtv.org/resource-library/#specifications">https://www.hbbtv.org/resource-library/#specifications</a>
13	備 考	欧州、アフリカ、アジアの32か国で採用、6か国でトライアル、30か国で検討中
14	更 新 年 月	2017年4月

(注1)活動エリアは以下から最も適当な項目を選択し、その番号を記入のこと。

- 2: モバイル系領域を中心に活動を実施
- 1: モバイル系領域の活動を主に、固定系領域の活動も実施
- 0: モバイル系、固定系の両領域にまたがって活動実施
- 1: 固定系領域の活動を主に、モバイル領域の活動も実施
- 2: 固定系領域を中心に活動を実施

(注2)活動技術は以下から最も適当な項目を選択し、その番号を記入のこと。

- 3: APL(アプリケーション)領域の活動を実施
- 2: APL領域の活動を主に、MDL(ミドルウェア)領域の活動も実施
- 1: APLとMDLの両領域の活動を実施
- 0: MDL領域の活動を実施
- 1: NW(ネットワーク)領域の活動を主に、MDL領域の活動も実施
- 2: NW領域の活動を実施
- x: 該当せず等

(注3)日系企業とは親会社が日本企業かどうかで判断する。

(注4)「TTC活動との関連性」とはTTCの専門委員会の活動と関連しているかを示す記載とし、理由には具体的な専門委員会名と関連している部分等を記載する。